CITIZEN

取扱説明書番号
D045-CGXD
室内用

電波時計 取扱説明書
（デジタル掛置兼用時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 発売元 リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート **https://rhythm.jp/support/**

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号（型番）をご確認ください。
例. 8RZ○○○

お客様相談室：0120-557-005 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

（Y2507）

保証書 GUARANTEE

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。
必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 ご氏名 様
ご住所
TEL（ ） －

※販売店印（住所、店名、電話番号）

※印は販売店記入

●ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
●この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
●ご記入いただきました個人情報は、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。（製品の小キズや汚れなど）
8. 電池の交換

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る
●傷をつけない。 ●分解しない。
●ショートさせない。 ●充電しない。
●加熱しない。 ●火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●暖房機器からの風が当たる所。
●温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 （電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●幼児の手が届かない所に置く。
●種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
（例：Panasonic EVOLTA（エボルタ）乾電池） ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について
●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
●買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあります。

電池・製品の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波時計について

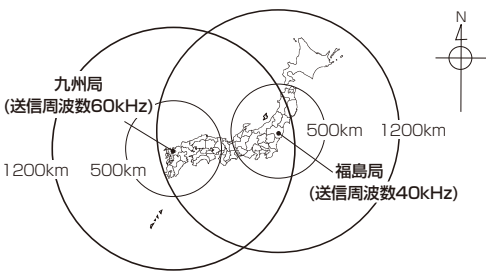
電波時計とは
クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(https://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

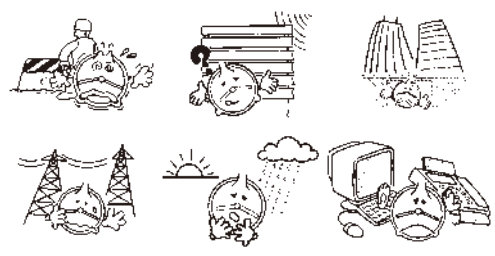


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの中、ビルの谷間、地下
●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く



おもな製品仕様

時間精度	標準電波の受信直後 表示精度 ±1秒 電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 温度が5～35℃のときのクオーツ精度
使用温度範囲	−10～+50℃ ㈱
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個 ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。
電池寿命	約1年
標準電波	標準電波受信による日時自動修正
受信局	福島局／九州局自動選択
受信回数	8回/日 1～4時、13～16時 各時間帯の16分40秒に受信を開始
表示	LCD
時刻表示	12時間／24時間 選択式
カレンダー	2007～2099年に対応
温度表示範囲	−9.9 ～ 50℃
温度測定精度	±2℃
湿度表示範囲	20～95%RH 温度が5～50℃の範囲のとき ＊%RHは相対湿度を表しています。
湿度測定精度	±10%RH
電池交換時期お知らせ機能	電池マークを表示
防塵防滴機能	なし

㈱液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。0～40℃の温度範囲になれば正常に表示します。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

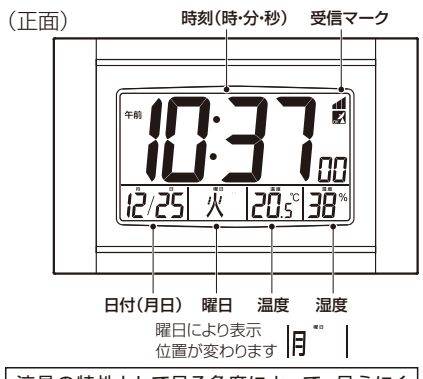
付属品 木ねじ 1個、 保証書 1枚

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

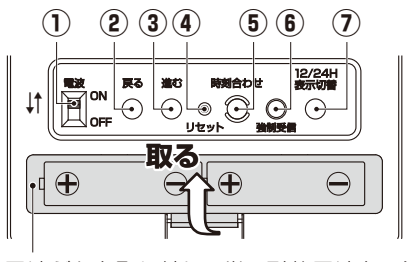
電池は付属しておりません。単3形乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

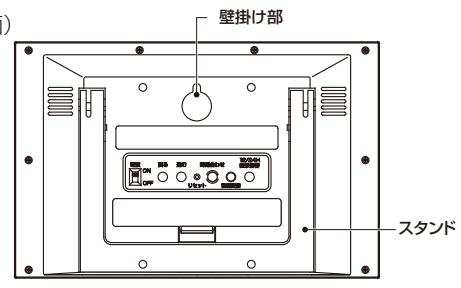


液晶の特性として見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。



電池ぶたを取り外し、単3形乾電池を2個入れてから電池ぶたを取り付ける。

⚠注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。



①電波スイッチ ―― 標準電波受信機能のON/OFFを設定。

②戻る
③進む ―― 手動で日時を合わせるときに使用。

操作	押してすぐ離す	押し続ける
戻る	1つ戻る	早戻し
進む	1つ進む	早送り

④リセット ―― 押すと2007年1月1日、午前12:00に設定される。電波スイッチがONのときは、受信を開始する。

リセットは、細い棒でまっすぐ押してください。

⑤時刻合わせ ―― 手動で日時を合わせるときに使用。

⑥強制受信 ―― 電波スイッチがONのときに押すとすぐに受信を開始します。

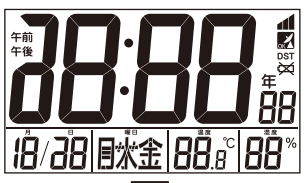
⑦12/24H ―― 時刻の表示形式の切り替え。

1 電波を受信して日時を合せる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには（手動での時刻合わせ）をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉



〈受信開始〉 受信マーク（受信中点滅）

※電源投入直後およびリセットを押した直後は、2007年1月1日、午前12:00に設定されます。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）

受信できない ⇢ 受信しやすい

〈受信終了〉 最長21分後

受信に成功すると受信マークが点灯

受信マークは受信成功後、24～25時間点灯

（受信に**成功**したときの表示例）

受信マーク消灯 失敗！

（受信に**失敗**したときの表示例）

※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

※受信に失敗したときに表示されている日時は正しくありません。

電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

❶電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

❷電波スイッチをONにする

❸リセットを楊枝（ようじ）などで押すと受信マークが点滅し受信を開始します

❹21分経過したら受信結果を確認する

受信に要する時間は、最長で約21分です。

受信マークが点灯していたら受信成功です。

☞ **【受信の流れと表示】** 参照

◎受信中はボタンやスイッチに触れないでください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかったり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

チェック！

1～2分経過しても受信マークが❶または❷の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセット**を押して再度受信を開始させてください。

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、リセットを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。

電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年月日、時刻（時、分）でのボタン操作 操作例. 2018年12月25日 午前10:37に合わせる

点滅している数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます。

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。

●標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

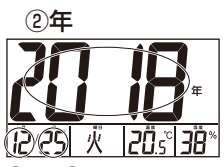
●電波スイッチがONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

①

①**時刻合わせ**を西暦年が点滅するまで約2秒間押し続ける。

②年を**進む**または**戻る**を押して合わせて、**時刻合わせ**を押す。

②年



③月を**進む**または**戻る**を押して合わせて、**時刻合わせ**を押す。

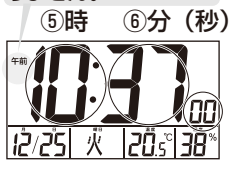
④日を**進む**または**戻る**を押して合わせて、**時刻合わせ**を押す。

③月 ④日

12時間表示のとき午前/午後表示に注意。24時間表示のときは午前/午後の表示はありません。

⑤時を**進む**または**戻る**を押して合わせて、**時刻合わせ**を押す。

⑤時 ⑥分（秒）



⑥分を**進む**または**戻る**を押して合わせて、**時刻合わせ**を押す。秒は分を合わせているときに、**進む**または**戻る**を押すたびに「00」秒に設定されます。

以上で設定が終わりました。

2 時計の設置

掛ける **⚠注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。**

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

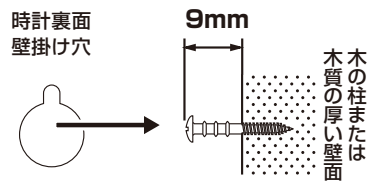
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

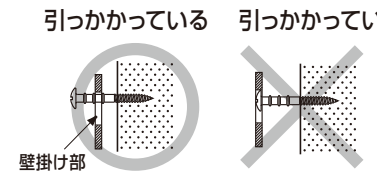
○掛けて使用するときはスタンドをきっちり収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

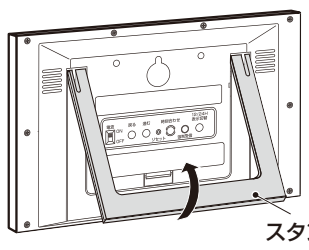




その他の壁面の場合

●石こうボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

置く



置いてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。

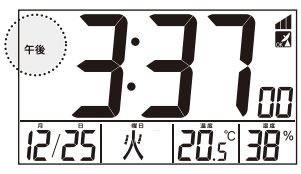
※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

時刻表示の切り替え

12/24Hを押すと時刻の表示形式が切り替わります。

12時間制表示（午前／午後表示付）



12/24H 表示切替

24時間制表示（00:00:00～23:59:59）

●電波の受信中や手動で日時を設定しているときは、表示を切り替えることはできません。

温度と湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温 「LL.L」−9.9℃より低温

湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「– –」測定不能

（温度が5～50℃の範囲外）

設置場所について

一般的な家庭やオフィス向けです。

直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

また、温室やサウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。

※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**リセット**を押してください。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

電池を交換したときは、必ずリセットを押してください。

⚠注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

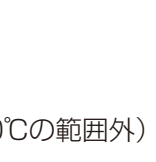
●液晶表示が薄くなったときや表示が欠けたときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

●動いていても1年に1回定期的に交換する。

※アルカリ乾電池を使用することができます。

※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用してください。



お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF（無効にして手動で日時を合わせる）

電波スイッチをOFFにしてください。

○日時は手動で合わせてください。

○時間の進み遅れは手動で修正してください。

受信機能 ON （有効にして受信を開始する）

電波スイッチをONにして、リセットを押してください。受信を開始します。

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

強制受信とリセット操作

強制受信

設置場所を移動したときなど、電波の受信を試みたいときに押します。受信に失敗しても継続して日時を表示します。

◎手動で時刻合わせをしているときは機能しません。

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12：00に初期化されます。

電波スイッチがONのときは受信を開始します。

●電波スイッチがOFFのときは、強制受信またはリセットを押しても受信を開始しません。